

第39回丹後半島駅伝大会 クマ対策と大会運営について

(一財)京都市市町村職員厚生会

全国的にクマ出没が確認されているなか、本大会コース周辺でも出没情報が継続している状況を鑑み、参加者の安全を最優先するため、以下のクマ対策を関係機関と調整したうえで慎重に準備を進めていくこととします。

1 対策案

①音による対策

- ・広報車にて先頭選手通過15分前を目途にコース上での音出し対策（選手通過のアナウンス）を実施する。
- ・大会当日の朝に、中継所にて音出し対策（クマよけホーン等）を実施する。
- ・交通整理員は鈴とホイッスルを携帯し、適時鳴らして警戒する。

②音以外の対策

- ・スタッフが、走路の巡回を行う。
- ・可能な範囲で、コースや中継所周辺の草刈り、藪の刈払いで見通しを確保する。
- ・交通整理員を増員し、周辺に人家がない場所等については可能な限り単独配置を避ける。
- ・各中継所及び全交通整理員にクマ撃退スプレーを用意する。
- ・京都府のクマ出没マップで直近（1週間以内）に目撃があった箇所は、特に注意して周囲を警戒する。

2 大会中止判断

大会当日等にクマが出没した場合は、原則、次のとおり対応する。

レース前

- ・レース前日から当日の朝までの点検等において、コース付近で明らかな目撃があった場合
 - レースを中止又は、コースの見直し（短縮等）を検討する。
 - コース外の周辺地域での目撃情報には対応しない

レース中

- ・レース中、コース付近で明らかな目撃があった場合
 - レースを中止する
 - コース外の周辺地域での目撃情報には対応しない